

ごあいさつ



経営管理委員会会長 鈴木 正三



代表理事理事長 田代 芳彦

皆さまには、日頃より静岡県信連をお引き立ていただきまして厚くお礼申し上げます。

このたび「2021年ディスクロージャー誌」を作成いたしましたのでご案内いたします。

本誌では、JAバンク静岡の概要、当会の経営方針・業務内容や近年の業績に至るまで広く取上げ、皆さまにわかりやすくお伝えすることを心がけて作成いたしました。ぜひご覧いただき、当会に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

当会は昭和23年の設立以来、農家組合員・地域の皆さまの繁栄及び地域社会の発展に貢献することを使命に事業を展開させていただいております。これもひとえに皆さまのご愛顧、ご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

さて、ご高承のとおり、令和2年度の日本経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状態にある一方、経済活動が再開する中、輸出や個人消費は持ち直しの動きがみられました。今後は、ワクチン接種の進展による経済活動正常化や海外経済の改善により、持ち直しの動きが続くことが期待されます。

金融面では、主要各国の財政出動や中央銀行による金融緩和策等による経済正常化への期待から世界的に株価が回復し、米株式主要指標は最高値を更新、日経平均株価も約30年半ぶりとなる30,000円台まで上昇しました。

また、地域金融機関においては世界的な金融緩和や日銀のマイナス金利政策が継続される中、運用難に伴う収益力低下が進み、組織再編や店舗統廃合等の合理化・効率化、デジタル化の進展に向けた業務運営の見直し等、持続可能な経営基盤の確立と事業モデルの再構築が求められております。

農業・JAを巡る情勢では、近年のTPP11、欧州連合とのEPA、日米貿易協定の締結に加え、直近では、令和2年11月に東アジア地域包括的経済連携（RCEP）へ署名、令和3年1月に日英包括的経済連携協定を発効する等、農業分野においても国際化の流れは加速しております。このような中で、JAグループは第28回JA全国大会にて令和元年度から3年間の取組方針として「農業者所得の増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」という自己改革の3つの基本目標を掲げ、さらなる挑戦とそれを支える持続可能な経営基盤の確立・強化に取り組んでいきます。

こうした情勢下、当会は「アグリジョナル コーディネーター Agrigional Coordinator ～食と農を未来へ ヒトと地域をつなぐ信連へ～」をビジョンとして掲げた『静岡県信連グループ中期経営計画（2020～2022年度）』の取組初年度として、目標の達成に向けて邁進してまいりました。

また、令和3年度につきましては、中期経営計画の中間年度として、JAバンク静岡の発展に資する更なる機能発揮、農業所得増大・地域活性化等に取り組んでいくとともに、中期経営計画の前倒し達成も視野に取組みを加速させていく所存でございます。

今後におきましても、引き続き格別のご支援・ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年7月